

武

者姿と

さつまの

刀



ときとうわしくま
時任鵬熊筆 武者姿 (油彩画)

2019

期間

4.26(金)~10.27(日)

[開館時間] 9:00~18:00(入館は17:30まで)

[休館日] 月曜日(祝日の際は翌日), 毎月25日(土・日を除く)

会場

鹿児島県歴史資料センター
黎明館3階 企画展示室

料金

常設展示と共通[下記は9月末までの料金です。]

一般:310円(230円) 高校・大学生:190円(120円)

小・中学生:120円(60円)

※()は20名以上の団体料金

※身体障害者手帳,療育手帳及び精神障害者保健福祉手帳の提示があった方と,その介護者1名は免除

※県内の小・中学校,高等学校,特別支援学校の児童生徒とその引率者については,教育課程に基づく

活動として入館する場合,事前申請によって免除

※県内居住の70歳以上の方は無料(年齢・住所の確認できる書類の提示が必要)

※県内居住の18歳以下の方は,土・日・祝日に限り無料(年齢・住所の確認できる書類の提示が必要)

刀:銘
薩州住藤原正房



弓野土人形 武者姿 (佐賀県)

開催にあたって

「武者震い」「切羽詰まる」「反りが合わない」等、武士や刀にまつわる言葉は、今も数多く残り、我々の生活の中で、自然に使われています。

武者姿は、その勇姿から絵画や焼物等に描かれたり、端午の節句に飾る武者人形として形作られたりして、人々の生活の中にありました。また、刀は、刃の文様(刃文)等、その美しさを楽しむ美術工芸品に変化し、最近のゲームキャラクターの影響も加わり、刀を楽しむ若者が、男女を問わず増えているようです。

そこで今回は、武者姿を描いた絵画や焼物、また武者人形等を展示し、武士の姿や生活を思い描きつつ、併せて武士にとって大切な刀を展示し、刀鍛冶や武具製作に携わった職人やその巧みな技等、先人達に思いを馳せていただきたいと思います。

展示資料は、館所蔵の歴史、民俗、美術・工芸資料約100点です。期間中に、前期・中期・後期で一部展示替えをしながら、様々な武者姿や刀等を御覧いただきたいと思います。



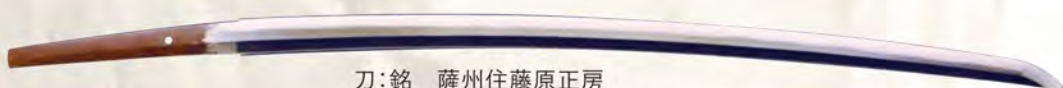
木村探元筆 鍾馗図
18C(江戸時代)/掛幅
日本画/紙本・水墨/縦154.5cm,横80.0cm



平山東岳筆 弁慶図
19C(江戸~明治時代)/掛幅
日本画/絹本 著色/縦164.0cm,横84.0cm



太刀:銘 吉行 応永二年八月十日
応永2(1395)年 長さ68.1cm,反り1.8cm 薩摩[波平系]



刀:銘 薩州住藤原正房
17C頃(江戸時代) 長さ68.1cm,反り1.8cm 薩摩[丸田系]/鹿児島県指定文化財



梨子地丸十紋散系巻太刀拵
太刀:銘 長光/正応(1288~1293) 長さ70.5cm,反り2.6cm 備州[長船派]/島津家伝来



槍:銘 奥和泉守忠重
18C頃(江戸時代) 長さ94cm 薩摩[奥系]



錦手武者絵大皿
陶器(野野系)
慶田窯 銘「大日本薩摩慶田製田之浦」
明治後期~昭和初期
直径46.5cm,高さ5.5cm



色絵武者絵広口花生
磁器(平佐系)
江戸後期~明治初期
直径17.5cm,高さ30.0cm



鐺 砂くぐり龍図
銘 小田直升彫之
縦7.5cm 横7.0cm



鐺・目貫 砂くぐり百足図
銘 石黒一寿作
鐺 縦7.5cm 横6.5cm



会期中、展示替を予定しています。

鹿児島県歴史資料センター 黎明館

〒892-0853 鹿児島市城山町7-2

☎ 099-222-5100 Fax 099-222-5143

URL <https://www.pref.kagoshima.jp/reimeikan/>



関連行事

■ 企画展解説講座(学芸講座を兼ねる)

「武者姿とさつまの刀」

[日時] 2019年6月16日(日) 13:30~15:00

[会場] 黎明館3階講座室(80席)

[講師] 主任学芸専門員 切原勇人 ※聴講無料

■ 展示解説(40分程度)

5月18日(土)14:00~

6月16日(日)15:00~

7月13日(土)14:00~

8月18日(日)14:00~

9月21日(土)14:00~

10月19日(土)14:00~

申込
不要

※ 展示解説には
常設展示団体観覧料が
必要です。